学校番号	T4001

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１～４
使用教科書	「MOUSA Ⅰ」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・幅広いジャンルの音楽を理解すること。また多彩な表現方法（歌唱・器楽等）において演奏、表現ができることにより音楽に対する視野を広げましょう。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、他の生徒とともに実際にやってみて、試してみてこそ価値あるものとなり、そうして感性が豊かになります。
・楽器になじみのない生徒も感心をもつこと。楽器の特徴や奏法の違いなども理解しよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
音楽の幅広い活動を通して，音楽文化についての理解を深め、基礎的な音楽の知識や技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
創造的な表現と鑑賞の能力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたり音楽を愛好する心情と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け，創造的に表している。 ● 音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きを感受しながら，解釈したり価値を考えたりして，音楽に対する理解を深め，よさや美しさを創造的に味わっている。	● 音楽を形づくっている要素を知覚し,それらの働きを感受しながら,音楽表現を工夫し,表現意図をもっている。	● 音楽活動の喜びを味わい,音楽や音楽文化に関心をもち,主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月 (10 月)   <

6月 (10 月)	器楽	(目標) 器楽の実習を通して楽器の表現に親しみ，技能の伸長をはかるとともに，その特長を生かした表現の良さを味わう。 (指導内容) ・ギター，リコーダーの基礎的な奏法の実習 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・簡単な器楽曲の創作 ・楽器の音色や奏法と楽曲の背景をとらえた鑑賞	a:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 a:音楽を形づくっている要素の働きをとらえ，それを生かして創作する技能を身に付けている。 a:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，楽曲の文化的・歴史的背景を理解し，作曲者・演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫をしている。 b:モティーフや和音の働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら，表現意図をもって創作している。 c:楽器の音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:様々な方法によるメロディー創作に主体的に取り組んでいる。 c:声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	器楽 創作 器楽 創作	器楽 創作	器楽 創作 鑑賞 ワークシート
7月 (11 月)	世界の音楽	(目標) 歌唱や鑑賞を通して，世界の音楽の種類や特徴を理解し，その良さを味わう。 (指導内容) ・曲種に応じた発声法の工夫 ・楽曲の背景と曲想とのかかわりを意識した表現の工夫 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	a:曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付けている。 a:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，楽曲の文化的・歴史的背景を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。 b:地域や民族による特徴的な音楽的要素（音階・リズム等）を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって歌唱する工夫をしている。 c:地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち，意欲的に歌唱しようとしている。 c:声や楽器の音色の特徴や，楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	歌唱 歌唱 鑑賞 ワークシート	歌唱 鑑賞 ワークシート	歌唱 鑑賞 ワークシート

	芸術と音楽	(目標) 劇や物語と音楽の結びつきを理解し，イメージをもって表現したり鑑賞したりする。 (指導内容) ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ・劇や物語と音楽とのかかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	a:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，作曲者・演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，良さや美しさを味わっている。 a:曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって歌唱する工夫をしている。 c:劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち，意欲的に歌唱したり，演奏したり，鑑賞しようとしている。	鑑賞 ワークシート 歌唱	歌唱	鑑賞 ワークシート
8月 (11月)	アンサンブル	(目標) 声や楽器を組み合わせて演奏したり，様々な音素材を用いた創作を通して，それらに必要な技能を身に付けイメージをもって表現する。 (指導内容) ・声や楽器の音色，奏法，それらの組み合わせを生かしたアンサンブル活動 ・様々な音素材による音楽づくり ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	a:音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。 a:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 a:音素材の特徴，反復，変化，対照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら，表現意図をもって演奏する工夫をしている。 b:音素材の特徴を生かして，反復，変化，対照などの構成を考え，表現したい音楽をイメージし，表現を工夫して音楽を作ろうとしている。 c:楽器の音色や奏法および，それらの組み合わせの面白さに関心をもち，それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:音色の特徴や，楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。	鑑賞 歌唱 器楽 ワークシート 器楽 創作 鑑賞	器楽 創作	鑑賞 器楽 創作 鑑賞 ワークシート
	独唱	(目標) 歌詞の内容や楽曲の背景を研究し，必要な技能を身に付け，イメージをもって表現したり，楽曲の価値を感じ取る。 (指導内容) ・芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ・芸術歌曲の鑑賞と批評	a:音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と，歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り，作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し，楽曲や演奏を解釈したり，それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。 a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り，イメージをもって音楽表現するために必要な発声，発語，読譜等を身に付け，創造的に表現している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら，曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り，音楽表現を工夫している。 c:曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち，イメージをもって歌唱したり，鑑賞しようとしている。	独唱 鑑賞 独唱 鑑賞	独唱 鑑賞	独唱 鑑賞

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度